

(結果報告)

1. 背景

フィリピンでは戸建て住宅等に空洞コンクリートブロック (CHB) が広く使用されていますが、大部分は簡便な設備で不十分な品質管理のもと製造された低強度の CHB です。また、CHB 造の強度確保に関する基準や検査体制等が十分には整備されていないため、現地 CHB 造の多くは脆弱で、地震や台風に対する安全性確保が課題となっています。

これを受け、日本で長年 CHB 造技術の開発・普及を推進してきた北海道建築技術協会 (HoBEA) が国土交通省の支援事業を活用して、フィリピンにおける CHB 造の安全性向上及び関連する日本企業の海外展開促進を目的とした調査・技術検討等に取り組んでいます。HoBEA は本取組を進めるにあたり、フィリピン構造基準の作成主体であるフィリピン構造技術者協会 (ASEP) の協力を得ています。

今年 10 月には、現地の政府、ASEP、CHB 製造会社、商工会議所の技術者等を日本に招聘して、研修を実施しました。CHB の製造工場、施工現場、建築事例の見学等を通じ、日本の高品質で強度の高い CHB を用いた災害に強い CHB 造技術について、現地技術者の理解を深めました。今般、HoBEA がフィリピンを訪れ、ASEP 主催の国際会議において、安全な CHB 造の普及に向けたセミナーを行いました。

2. セミナー

日本側からは、日本における CHB の規格や構造基準、高品質な CHB の製造技術、CHB 造の工法や建築事例等を紹介しました。また、フィリピンの実情に即した安全かつ合理的な CHB 造の改善工法を提案しました。

フィリピン側からは、ASEP がフィリピンでの CHB 造に関する構造基準の現状、近年の地震被害、品質改善に向けた取組と課題等について発表しました。また、相次ぐ地震被害を受けた CHB の品質改善のため、11 月に大統領が CHB を規格認証対象とするよう政府に指示したとの説明がありました。

セミナーにはフィリピン国内外から多数の技術者・研究者等の参加があり、日本の CHB 製造技術や提案した現地向け改善工法に高い関心が寄せられ、活発な議論が行われました。また、高品質な CHB の製造・使用の重要性が認識されるとともに、ASEP による CHB 造の構造基準や設計・施工マニュアルの策定及びその策定に向けた日本側からの継続的な協力を強い期待が示されました。

HoBEA による本取組を通じ、フィリピンにおける CHB 造の安全性向上が進むとともに、現地における高品質な CHB 製造のための設備の販売、高品質な CHB の供給や CHB 造住宅の販売など、CHB 製造や住宅供給分野における日系企業の事業展開に向けた環境整備が期待されます。

(参考)



地震被害を受けたフィリピンの CHB 造住宅



フィリピンの小規模メーカー製 CHB (左) と日本製 CHB (右)



日本における CHB 造住宅事例